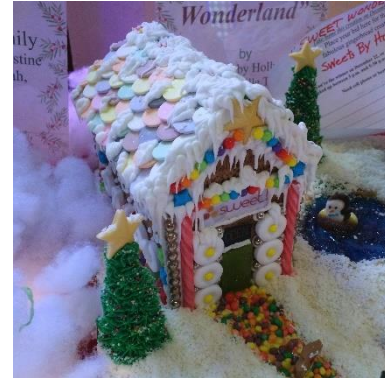
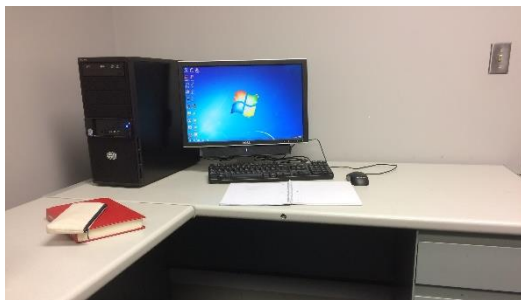


二週間ほどの冬休みを経て、一月上旬から春学期が始まりました。冬休みの間は、ルームメートの実家にホームステイさせて頂き、一緒に過ごしました。その間、クリスマスの飾りを見に行ったり、舞台劇に連れて行ってもらったりしました。その他にも、お祝いのときに食べる家庭料理を振る舞って頂いたり、お菓子を一緒に作ったりなどしました。普段の学校生活では体験できないことを、たくさんさせて頂きました。



春学期は秋学期と同じように、4つの授業を受講しておりますが、内容は秋学期のそれとは異なるものとなっております。今学期、私は **undergraduate research** と呼ばれる授業を受講しており、その授業は座学ではなく、セミナー形

式で進められます。内容は、今まで島根大学で行ってきた研究に近く、テーマに沿った勉強を進めています。アメリカに住み始めて、まもなく半年が経ちますが、未だに学術的な内容を英語で考えることは難しいです。他の3つの授業は、語学に関する授業、天文学、生物物理学です。語学に関する授業は、英語で文章を書く上で、大変役立っています。課題のエッセイを書



きながら、読み手にわかりやすい文章を書くには、選ぶ単語が重要であることに気がきました。それは、日本語訳では同じ意味である単語も、実はそれらに付け加えられるニュアンスは異なっていることがあるからです。そのニュアンスは、他の言語を話す者たちにとっては、理解することが難しいです。例えば、**understand** と **comprehend** や、**study** と **learn** ではそれぞれ日本語訳が近いですが、読者が受け取る意味には、わずかながら違いがあります。文章に合う、また、自分が伝えたい意味に一番近い単語を選ぶことは、わかりやすい文を書くために必要だと言えます。

しかし、自分の力だけではできない場合も多くあるため、ルームメートや友だちに手伝ってもらっています。特に、ルームメートとは、勉強を手伝ってもらう以外にも、買い物と一緒にいたり、ご飯を一緒に食べたりなど、多くの時間を一緒に過ごしています。ルームメートの中には、アメリカ国外出身の家族を持つ人もいて、その国の郷土料理を振る舞ってくれたり、反対に、日本料理を教えたりなどもしています。

フロリダ州は、中央アメリカの国々と近いために、家族や自身が中央アメリカの出身である人とよく会います。それらの国々についての話を聞くことは興味深く、新しく知ることも多くあります。特に、国の歴史についての話を聞くと、国の歴史そのものが文化や思想と結びついていたたり、政治と宗教が関わっていたりなど、とても興味深いです。

留学期間も、あと2か月ほどですが、最後まで気を抜かずやり通したいと思います。